

青 い 鳥

[6月号]

約束を守れることの大切さとたのしさ

各クラスに対し「モンテッソーリ教育」の指導を行いました。子どもたちは、これから何が始まるのかとても興味津々でした。

「モンテッソーリ教育」に際し、子どもたちには次の4点について基本的な約束をし、教具の指導を行いました。

- ① 教室に入るときは、靴をそろえてから入室する。(出るときに靴を履きやすいようにするため)・・・しつけとして大切なことで、身の回りの整理整頓ということの基本となるものです。しっかりと身に付けることが大切です。
- ② 手をきれいに洗うこと。・・・みんなで使う教具だから、いつもきれいに使うためです。
- ③ 話しをするときには小さい声で話しましょう。・・・教室がうるさくなると段々とお互いに話し合う声が大きくなって来るからです。
- ④ 自分が使いたい教具があっても、順番を守って自分の番に来たら使うようにする。・・・けんかのほとんどがこのことから始まるため、約束を守ることによって、待つ(我慢する)という習慣が身に付きます。

個々に指導を受けなければ使うことのできない教具が多いために、子どもたちはしっかりと話しを聞くことができていました。

「モンテッソーリ教育」の指導は、毎月約束事を確認しながら進めていきたいと思っています。しっかりと身に付けて、自分から進んで何事も出来る「自律」した子どもになるように指導して参ります。

園 長 榎 山 恭 子